

沖縄キリスト教短期大学 2016 年度後期授業評価分析結果

はじめに

2016 年度後期の授業評価アンケートを同年 1 月（当該学期末に近い時期）に実施し、87 科目、174 クラスについて分析を行った。分析に供された評価表は、3,695 件であった。評価は 5 段階法を採用しており、1 点を最低、5 点を最高の評価としている（質問項目 9 は 2 段階法）。

本章では、「Ⅰ 学習態度の自己評価」および「Ⅱ 学習環境の評価」についての各科・系の評価状況を示す。

表の見方

▼ 全学科

記述統計量^a

		度数	5	4	3	2	1	平均値	標準偏差
Ⅰ 学習 態度 の 自己 評価	1. 授業の概要・目的、成績評価方法等の正しい理解	3681	2662	770	218	19	12	4.64	.646
	2. 授業を乱す行為をしない	3685	2632	765	246	36	6	4.62	.668
	3. 発展的な学習や新しい知識への興味	3686	2557	798	282	37	12	4.59	.703
	4. 積極的な参加	3685	2508	809	313	44	11	4.56	.724
	5. 計画的な学習への取り組み	3684	2212	920	449	80	23	4.42	.832
	6. 地域及び国際社会の事情に、より関心を持つ	3685	2290	879	426	68	22	4.45	.813
	7. 自主的な予習・復習または準備・フィードバック	3678	1957	952	596	120	53	4.26	.941
	8. 遅刻はない	3673	2798	464	230	89	92	4.58	.903
	9. 欠席回数 of 把握	3329	-	-	-	1018	2311	1.31	.461
Ⅱ 学習 環境 の 評価	10. 授業中の質問する機会や工夫	3677	2697	692	234	40	14	4.64	.685
	11. 適切な授業の開始・終了時間	3686	3058	462	139	20	7	4.78	.552
	12. メリハリのある授業の進め方	3683	2939	511	179	44	10	4.72	.636
	13. 理解や興味を引き出す工夫	3682	2795	594	220	56	17	4.66	.702
	14. 教員としての相応しい発言や態度	3683	3024	461	158	30	10	4.75	.594
	15. 学習環境、受講生のマナーの維持	3685	2825	587	229	34	10	4.68	.656
	16. 教科書や黒板、パソコン等の有効利用	3682	2872	554	209	35	12	4.69	.650
	17. 適切な授業の進度	3685	2938	501	207	29	10	4.72	.629
	18. 学んだという達成感	3676	2790	614	201	45	26	4.66	.702

度 数：評価を行った学生の人数である。評価項目ごとに表示してある。

評価基準：5 とても良く当てはまる 4 当てはまる 3 どちらともいえない

2 あまり当てはまらない 1 全く当てはまらない

5 段階評価の分布を実数で表示している。

平均 値：評価の平均値である。

標準 偏差：平均値からの各評価者の得点の散らばりを表す。小さいほど評価が一致していることになる。全員が同じ評価だったら 0 となる。

沖縄キリスト教短期大学
2016 年度後期授業評価分析結果

▼ 総合教育系

記述統計量^a

		度数	5	4	3	2	1	平均値	標準偏差
I 学習態度の自己評価	1. 授業の概要・目的、成績評価方法等の正しい理解	691	468	163	50	6	4	4.57	.716
	2. 授業を乱す行為をしない	691	396	193	90	12	0	4.41	.779
	3. 発展的な学習や新しい知識への興味	691	382	202	94	13	0	4.38	.788
	4. 積極的な参加	691	366	208	99	17	1	4.33	.821
	5. 計画的な学習への取り組み	690	281	243	136	27	3	4.12	.887
	6. 地域及び国際社会の事情に、より関心を持つ	691	334	197	121	33	6	4.19	.946
	7. 自主的な予習・復習または準備・フィードバック	690	250	236	153	42	9	3.98	.973
	8. 遅刻はない	691	454	98	74	39	26	4.32	1.107
	9. 欠席回数の把握	644	-	-	-	291	353	1.45	.498
II 学習環境の評価	10. 授業中の質問する機会や工夫	690	479	157	43	8	3	4.60	.699
	11. 適切な授業の開始・終了時間	692	572	86	30	4	0	4.77	.546
	12. メリハリのある授業の進め方	691	517	113	46	14	1	4.64	.710
	13. 理解や興味を引き出す工夫	692	473	139	64	14	2	4.54	.768
	14. 教員としての相応しい発言や態度	692	530	103	50	8	1	4.67	.674
	15. 学習環境、受講生のマナーの維持	692	499	133	47	11	2	4.61	.710
	16. 教科書や黒板、パソコン等の有効利用	692	518	120	43	10	1	4.65	.675
	17. 適切な授業の進度	692	520	113	52	5	2	4.65	.675
	18. 学んだという達成感	692	471	156	48	14	3	4.56	.748

▼ 英語科

記述統計量^a

		度数	5	4	3	2	1	平均値	標準偏差
I 学習態度の自己評価	1. 授業の概要・目的、成績評価方法等の正しい理解	689	511	125	46	4	3	4.65	.670
	2. 授業を乱す行為をしない	688	513	131	37	6	1	4.67	.632
	3. 発展的な学習や新しい知識への興味	689	467	137	62	18	5	4.51	.821
	4. 積極的な参加	687	438	156	73	19	1	4.47	.804
	5. 計画的な学習への取り組み	687	369	167	109	30	12	4.24	.986
	6. 地域及び国際社会の事情に、より関心を持つ	687	400	163	94	22	8	4.35	.913
	7. 自主的な予習・復習または準備・フィードバック	686	335	158	135	36	22	4.09	1.085
	8. 遅刻はない	685	533	85	32	15	20	4.60	.904
	9. 欠席回数の把握	624	-	-	-	196	428	1.31	.465
II 学習環境の評価	10. 授業中の質問する機会や工夫	685	496	108	63	15	3	4.58	.783
	11. 適切な授業の開始・終了時間	687	566	79	35	5	2	4.75	.607
	12. メリハリのある授業の進め方	687	553	86	30	14	4	4.70	.699
	13. 理解や興味を引き出す工夫	686	518	89	50	22	7	4.59	.839
	14. 教員としての相応しい発言や態度	687	566	74	36	9	2	4.74	.643
	15. 学習環境、受講生のマナーの維持	686	535	89	50	9	3	4.67	.707
	16. 教科書や黒板、パソコン等の有効利用	686	532	94	47	10	3	4.66	.708
	17. 適切な授業の進度	687	547	77	51	9	3	4.68	.705
	18. 学んだという達成感	686	501	104	55	14	12	4.56	.861

沖縄キリスト教短期大学 2016 年度後期授業評価分析結果

▼ 保育科

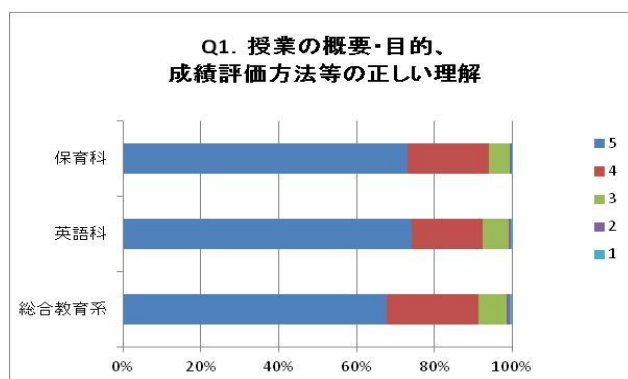
記述統計量^a

		度数	5	4	3	2	1	平均値	標準偏差
I 学習態度の自己評価	1. 授業の概要・目的、成績評価方法等の正しい理解	2301	1683	482	122	9	5	4.66	.615
	2. 授業を乱す行為をしない	2306	1723	441	119	18	5	4.67	.629
	3. 発展的な学習や新しい知識への興味	2306	1708	459	126	6	7	4.67	.618
	4. 積極的な参加	2307	1704	445	141	8	9	4.66	.644
	5. 計画的な学習への取り組み	2307	1562	510	204	23	8	4.56	.725
	6. 地域及び国際社会の事情に、より関心を持つ	2307	1556	519	211	13	8	4.56	.710
	7. 自主的な予習・復習または準備・フィードバック	2302	1372	558	308	42	22	4.40	.855
	8. 遅刻はない	2297	1811	281	124	35	46	4.64	.818
	9. 欠席回数の把握	2061	-	-	-	531	1530	1.26	.437
II 学習環境の評価	10. 授業中の質問する機会や工夫	2302	1722	427	128	17	8	4.67	.648
	11. 適切な授業の開始・終了時間	2307	1920	297	74	11	5	4.78	.537
	12. メリハリのある授業の進め方	2305	1869	312	103	16	5	4.75	.589
	13. 理解や興味を引き出す工夫	2304	1804	366	106	20	8	4.71	.626
	14. 教員としての相応しい発言や態度	2304	1928	284	72	13	7	4.79	.549
	15. 学習環境、受講生のマナーの維持	2307	1791	365	132	14	5	4.70	.622
	16. 教科書や黒板、パソコン等の有効利用	2304	1822	340	119	15	8	4.72	.623
	17. 適切な授業の進度	2306	1871	311	104	15	5	4.75	.587
	18. 学んだという達成感	2298	1818	354	98	17	11	4.72	.624

1 各設問に対する結果

以下に、「I 学習態度の自己評価」に関する結果を、パーセンテージで表した割合と横棒グラフとして表し、それに対し若干の解説、解釈を述べる。

Q1 「初回のオリエンテーションを聞き、授業の概要や目的、成績評価の方法などについて正しく理解していた。」

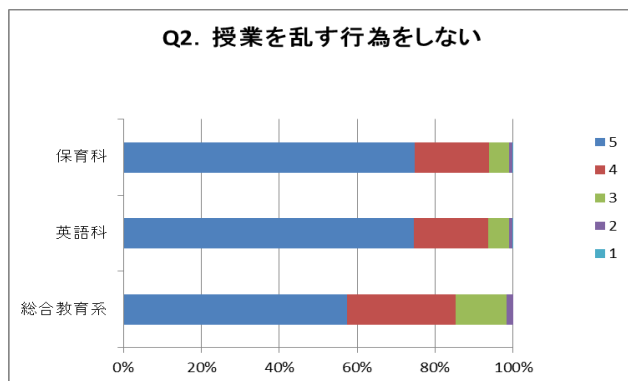


	5	4	3	2	1
保育科	73.1%	20.9%	5.3%	0.4%	0.2%
英語科	74.2%	18.1%	6.7%	0.6%	0.4%
総合教育系	67.7%	23.6%	7.2%	0.9%	0.6%

「5. とても良く当てはまる」「4. あてはまる」を合わせた割合が各学科・系ともに 90%を超えている。前年度同期も同様に高い割合にあり、講義初回のオリエンテーションでの説明が学生に正しく伝わっているといえる。

Q2 「私語や携帯電話の使用など、授業を乱す行為をしなかった。」

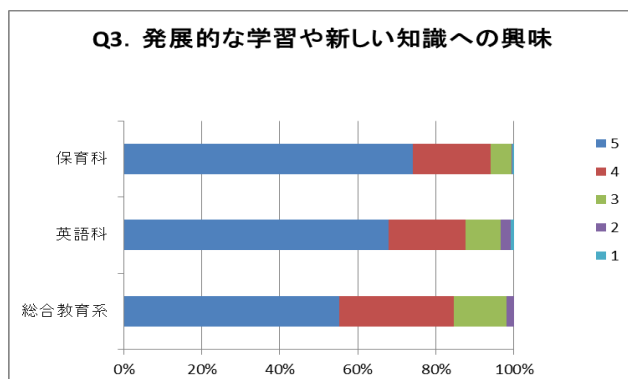
沖縄キリスト教短期大学 2016 年度後期授業評価分析結果



	5	4	3	2	1
保育科	74.7%	19.1%	5.2%	0.8%	0.2%
英語科	74.6%	19.0%	5.4%	0.9%	0.1%
総合教育系	57.3%	27.9%	13.0%	1.7%	0.0%

「5.とても良く当てはまる」「4.あてはまる」を合わせた割合が、保育科は 93%、総合教育系は 95%となっており、前年度同期と変わらず高い割合にある。英語科においては前年度 88%なのに対し、今年度は 93%と大きく増加している。各科・系において、大多数の学生が、授業をスムーズに進めるための協力体制ができてきているといえる。一方で 5~13%の学生が「わからない」と回答しており、“何が”授業を乱す行為なのかをわかっていない可能性もある。どのような行為がそれにあたるのかを明確にすることで、設問結果にも変化がみられる可能性がある。

Q3 「この授業をきっかけに、発展的な学習や新しい知識に興味湧いた。」

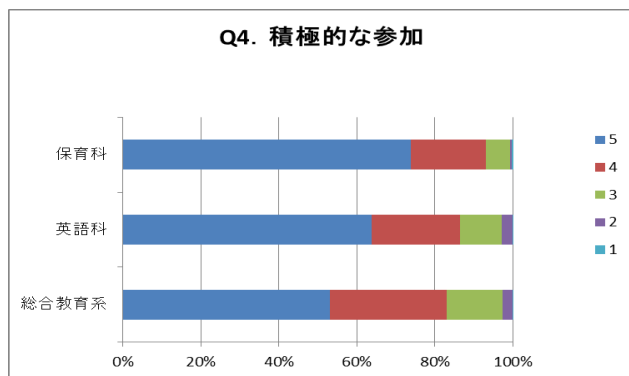


	5	4	3	2	1
保育科	74.1%	19.9%	5.5%	0.3%	0.3%
英語科	67.8%	19.9%	9.0%	2.6%	0.7%
総合教育系	55.3%	29.2%	13.6%	1.9%	0.0%

「5.とても良く当てはまる」「4.あてはまる」の割合が保育科 93%、英語科 89%、総合教育系 84%とすべて 8 割を超えている。保育科、英語科において数値が高くなっているのは、前期に比べより専門性のあるカリキュラムであることとで、発展的な学びや興味につながっているといえるだろう。しかしながら、ほかの選択肢の結果をみると、保育科以外は 10%以上であり、1 割強の学生が講義を受ける際、「受け身」であるといえる。

Q4 「この授業に、積極的に参加した。」

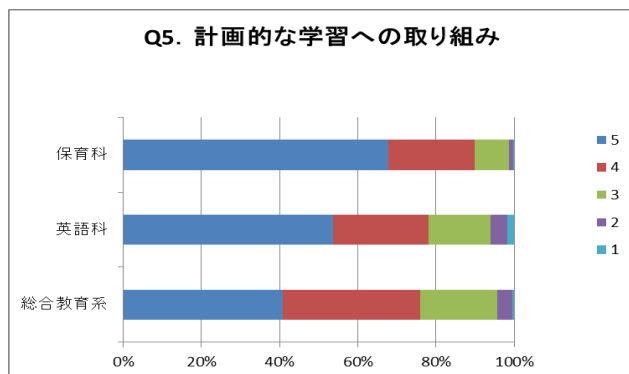
沖縄キリスト教短期大学 2016 年度後期授業評価分析結果



	5	4	3	2	1
保育科	73.9%	19.3%	6.1%	0.3%	0.4%
英語科	63.8%	22.7%	10.6%	2.8%	0.1%
総合教育系	53.0%	30.1%	14.3%	2.5%	0.1%

この設問では、各科・系で前年度同期からの動きが異なっている。保育科では、「1. 全くあてはまらない」と答えた割合と、「5. とても良く当てはまる」と答えた割合が増加している。英語科は、低評価の割合において変化はないが、「5. とても良く当てはまる」「4. 当てはまる」の割合の中で、4→5 への満足度のシフトとみられる数値の変化がみられることから、授業への積極的参加を促す取り組みが行われたと推測できる。総合教育系は、「5. とても良く当てはまる」「4. 当てはまる」を合わせた割合が 8 割強ではあるが、積極的参加を感じていない学生の割合も 16%いる。前年同同期より評価が下がる傾向にあるため、講義内容を見直す材料にしてほしい。

Q5 「授業時間以外にも、授業の準備や課題を行うなど、計画的に学習に取り組んだ。」

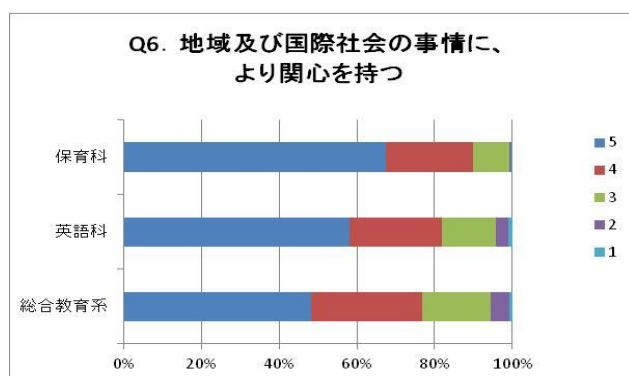


	5	4	3	2	1
保育科	67.7%	22.1%	8.8%	1.0%	0.3%
英語科	53.7%	24.3%	15.9%	4.4%	1.7%
総合教育系	40.7%	35.2%	19.7%	3.9%	0.4%

「5. とても良く当てはまる」「4. 当てはまる」を合わせた割合が、英語科 78%、総合教育系 75%であり、おおむね、学生は計画的に学習へ取り組んでいるといえる。特に保育科では 90%が計画的に学習していると答えており、Q3 や Q4 同様に学習への積極性が伺える。

Q6 「この授業を通して、地域及び国際社会の事情に、より関心を持つようになった。」

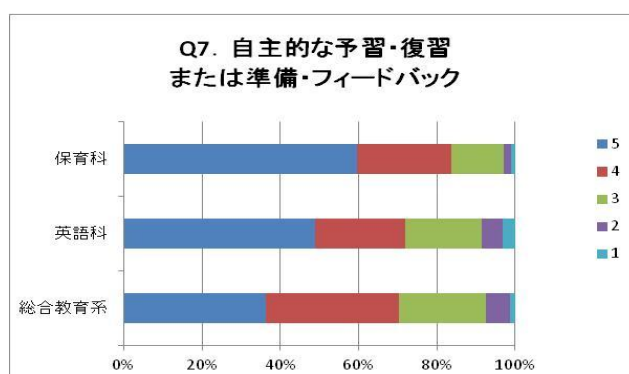
沖縄キリスト教短期大学 2016 年度後期授業評価分析結果



	5	4	3	2	1
保育科	67.4%	22.5%	9.1%	0.6%	0.3%
英語科	58.2%	23.7%	13.7%	3.2%	1.2%
総合教育系	48.3%	28.5%	17.5%	4.8%	0.9%

「5. とても良く当てはまる」「4. 当てはまる」を合わせた割合は総合教育系 76%、英語科 81%、保育科 89%となっている。前年度同期と比較すると、総合教育系が若干減少しており、保育科・英語科では増加している。その他の評価について前年度と比較すると、英語科では低評価へのシフトがみられる。保育科・総合教育系ではその逆となっている。これからのグローバル社会に向けて、また地域貢献へ向けての取り組みは今後さらに必要とされるのが予測されるため、この設問の評価は、今後も注目していきたい。

Q7 「この授業の予習・復習または準備・フィードバックを自主的に行った。」

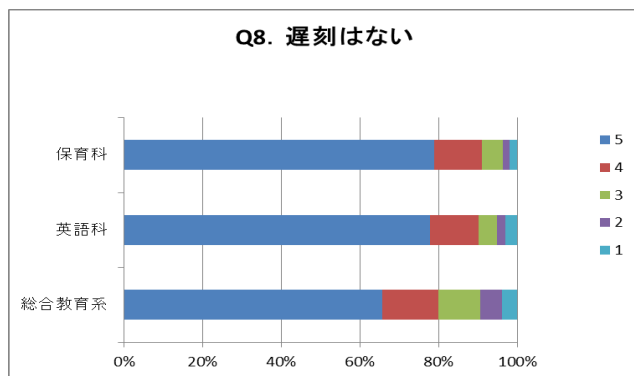


	5	4	3	2	1
保育科	59.6%	24.2%	13.4%	1.8%	1.0%
英語科	48.8%	23.0%	19.7%	5.2%	3.2%
総合教育系	36.2%	34.2%	22.2%	6.1%	1.3%

「5. とても良く当てはまる」「4. 当てはまる」を合わせた割合が保育科 83%、英語科 71%、総合教育系 70%となっている。逆にいうと、30%ほどの学生が授業準備やフィードバックを自主的に行っていない、ということを表している。同じ授業外の学習姿勢をみる Q5 の設問結果とは、少し違いが出ており、自主的な予習・復習がなくても授業が可能であるという裏付けになっている。

Q8 「この授業での遅刻はなかった。」

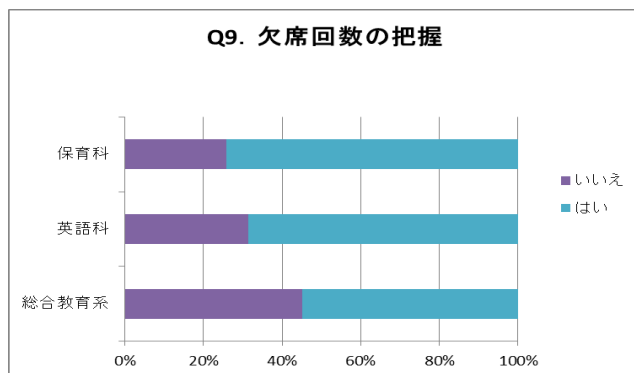
沖縄キリスト教短期大学 2016 年度後期授業評価分析結果



	5	4	3	2	1
保育科	78.8%	12.2%	5.4%	1.5%	2.0%
英語科	77.8%	12.4%	4.7%	2.2%	2.9%
総合教育系	65.7%	14.2%	10.7%	5.6%	3.8%

「5. とても良く当てはまる」「4. 当てはまる」を合わせた割合が、英語科、保育科では90%以上と高い。特に、英語科は前年度同期と比較すると10%以上の増加しており明白な改善が確認できる。総合教育系でも今年度79%と高い割合にあるものの、前年度から大きく減少しており、その要因を探る必要があるだろう。

Q9 「この授業での欠席回数を把握している。」

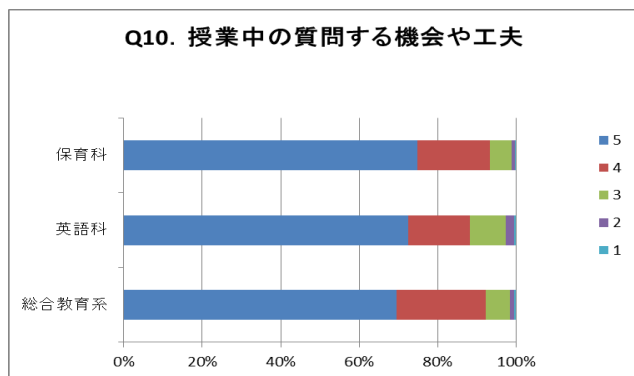


	5	4	3	2	1
保育科				25.8%	74.2%
英語科				31.4%	68.6%
総合教育系				45.2%	54.8%

学生が自分の欠席回数を把握している割合が、保育科74%、英語科68%、総合教育系54%であった。欠席回数の把握は、自らの成績への関心も含んでいるとみることができる。前年度同期と比較すると、英語科では増加、保育科、総合教育系では減少がみられる。特に総合教育系においては20%近い減少がみられる。授業内での学生への呼びかけが必要と思われる。

Q10 「授業中、分からないことや理解できなかったことを質問する機会や工夫があった。」

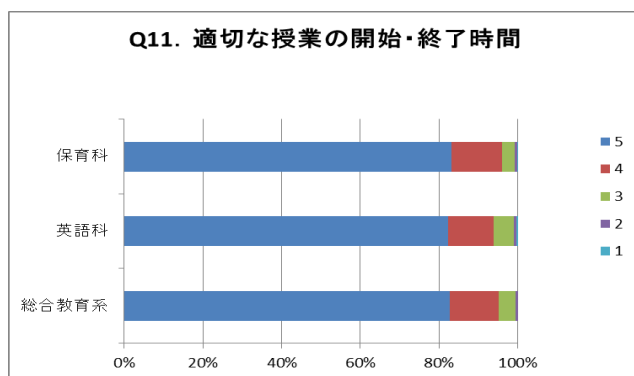
沖縄キリスト教短期大学 2016 年度後期授業評価分析結果



	5	4	3	2	1
保育科	69.4%	22.8%	6.2%	1.2%	0.4%
英語科	72.4%	15.8%	9.2%	2.2%	0.4%
総合教育系	74.8%	18.5%	5.6%	0.7%	0.3%

「5. とても良く当てはまる」「4. 当てはまる」を合わせた割合が保育科 93%、英語科 88%、総合教育系 92%であった。前年度同期と比較して、英語科が少し減少してはいるが総じて高い割合にあるといえる。全体的な評価をみても各系・系ともに高評価へのシフトと捉えることができる。

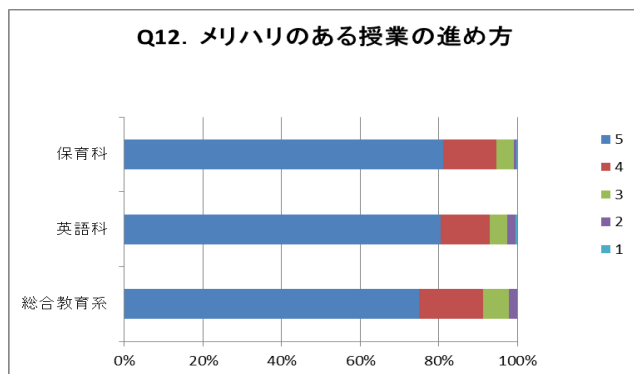
Q11 「授業の開始・終了時間は適切であった。」



	5	4	3	2	1
保育科	83.2%	12.9%	3.2%	0.5%	0.2%
英語科	82.4%	11.5%	5.1%	0.7%	0.3%
総合教育系	82.7%	12.4%	4.3%	0.6%	0.0%

各学科・系ともに9割以上の学生が「適切であった」と回答している。総合教育系にあつては「1. 全く当てはまらない」と答えた学生が0人であり、とてもよい傾向といえる。

Q12 「授業の進め方にメリハリ（声の大小、説明内容等）があつた。」



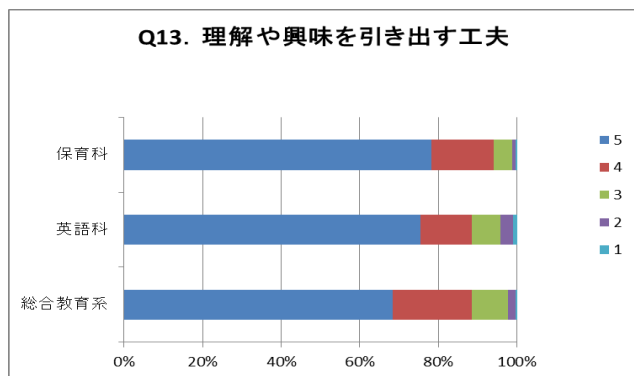
	5	4	3	2	1
保育科	81.1%	13.5%	4.5%	0.7%	0.2%
英語科	80.5%	12.5%	4.4%	2.0%	0.6%
総合教育系	74.8%	16.4%	6.7%	2.0%	0.1%

総合教育系は「5. とても良く当てはまる」「4. 当てはまる」を合わせた割合が91%高く、他の評価の割合も含め、前年度同期と同様の結果である。同様に英語科や保育科においても高評価であることは変わ

沖縄キリスト教短期大学 2016 年度後期授業評価分析結果

りないが、「5. とても良く当てはまる」がどちらも8割を超えており、授業構成を好意的に感じている学生が増えているといえる。

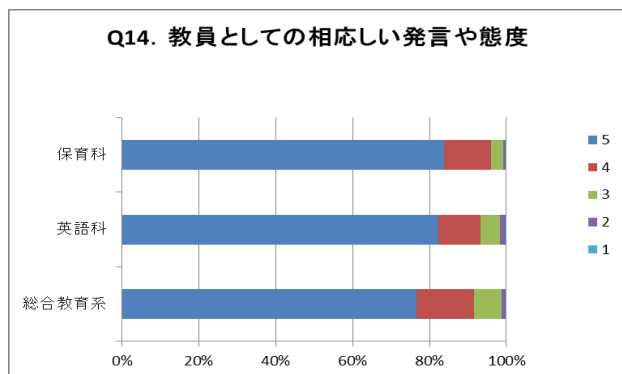
Q13 「理解や興味を引き出すよう工夫されていた。」



	5	4	3	2	1
保育科	78.3%	15.9%	4.6%	0.9%	0.3%
英語科	75.5%	13.0%	7.3%	3.2%	1.0%
総合教育系	68.4%	20.1%	9.2%	2.0%	0.3%

「5. とても良く当てはまる」「4. 当てはまる」を合わせた割合が保育科 94%、英語科 88%、総合教育系 88%で、前年度同期に続き高い値となっている。しかし、「5. とても良く当てはまる」の割合が増加し、「2. 当てはまらない」と答えた割合も増加している。工夫を感じる学生とそうでない学生に開きが生じているとみることができる。

Q14 「教員として相応しい発言や態度であった。」

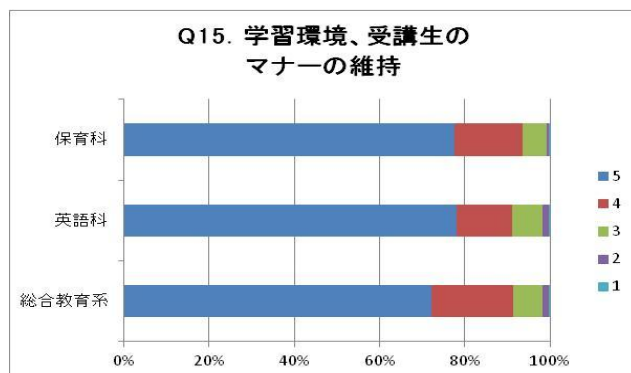


	5	4	3	2	1
保育科	83.7%	12.3%	3.1%	0.6%	0.3%
英語科	82.4%	10.8%	5.2%	1.3%	0.3%
総合教育系	76.6%	14.9%	7.2%	1.2%	0.1%

「5. とても良く当てはまる」「4. 当てはまる」を合わせた割合が保育科 95%、英語科 93%、総合教育系 91%でおおむね教員の発言や態度は適切であるといえる。しかし、低い評価を受けた授業も少なからずあることから、こちらの結果にもぜひ目を向けたい。どの学科・系も「教員として相応しい発言・態度であった」とする学生が、前年度同期と同様に高い割合を占めている。また、「相応しくなかった」とする結果が英語科・保育科では減少しており、改善傾向にあるといえる。

Q15 「受講するための十分な学習環境、受講生のマナーが保たれていた。」

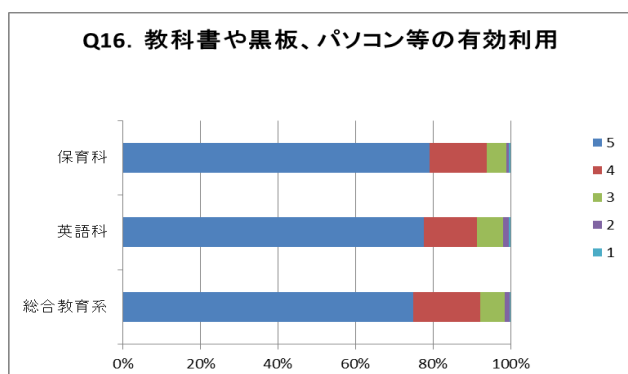
沖縄キリスト教短期大学 2016 年度後期授業評価分析結果



	5	4	3	2	1
保育科	77.6%	15.8%	5.7%	0.6%	0.2%
英語科	78.0%	13.0%	7.3%	1.3%	0.4%
総合教育系	72.1%	19.2%	6.8%	1.6%	0.3%

「5. とても良く当てはまる」「4. 当てはまる」を合わせた割合が各学科・系ともに9割強あり、授業を受ける環境が十分保たれていたといえる。しかし一方で、「学習環境が保たれていない」と考える学生もあり、少ない割合ではあるが、「3. どちらともいえない」と答えた学生も含め引き続き学習環境の維持を意識して授業を進める必要があるだろう。

Q16 「教科書や配布資料、その他教材、黒板やパソコン等が有効に使われていた。」

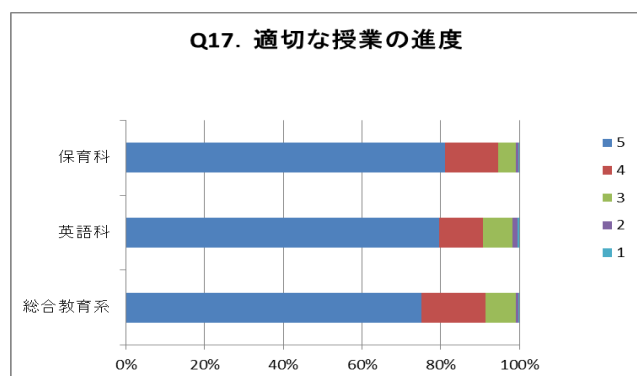


	5	4	3	2	1
保育科	79.1%	14.8%	5.2%	0.7%	0.3%
英語科	77.6%	13.7%	6.9%	1.5%	0.4%
総合教育系	74.9%	17.3%	6.2%	1.4%	0.1%

「5. とても良く当てはまる」「4. 当てはまる」を合わせた割合が各学科・系で90%を超える結果であり、前年度同期と比較しても変化はみられない。これより各学科・系において授業における教材活用が多くの学生の理解に役立っているといえる。

Q17 「授業の進度は、適切であった。」

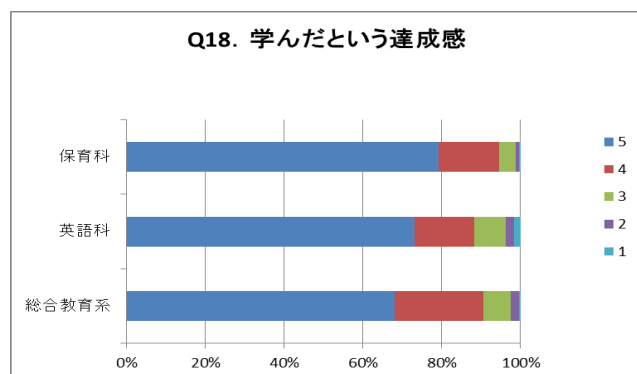
沖縄キリスト教短期大学 2016 年度後期授業評価分析結果



	5	4	3	2	1
保育科	81.1%	13.5%	4.5%	0.7%	0.2%
英語科	79.6%	11.2%	7.4%	1.3%	0.4%
総合教育系	75.1%	16.3%	7.5%	0.7%	0.3%

「5. とても良く当てはまる」「4. 当てはまる」を合わせた割合が各学科・系ともに 90%を超えている。総合教育系は前年度同期と比較して「4. 当てはまる」が増加しており、逆に「1. 全く当てはまらない」「2. あまり当てはまらない」がともに減少していることから、授業の進度について改善があったといえる。保育科も同様である。英語科は、「3. どちらともいえない」以降の割合が7%から10%程度に拡大している。各学科・系ともに後期はより専門性のあるものやステップアップした授業が行われるにも関わらず、多くの学生が「進度が適切」と答えているのはとてもよい結果だといえる。一方で、「適切」だと感じられない7~10%の学生のフォローもどうしていくか今後論じる必要があるだろう。

Q18 「学んだという達成感が得られた。」



	5	4	3	2	1
保育科	79.1%	15.4%	4.3%	0.7%	0.5%
英語科	73.0%	15.2%	8.0%	2.0%	1.7%
総合教育系	68.1%	22.5%	6.9%	2.0%	0.4%

「5. とても良く当てはまる」「4. 当てはまる」を合わせた割合が保育科 94%、英語科 89%、総合教育系 90%で、多くの学生が授業を通して達成感を感じているといえる。前年度同期と比較してみると、保育科は今年度と同様高い水準にある。英語科や総合教育系については、どちらも「5. とても良く当てはまる」や「4. 当てはまる」の高評価の割合が増えている。要因として、後期はより専門性のある科目群が増えるということも挙げられるが、学生による自由記述による評価から、教員による授業構成の創意・工夫が関係していることいえる。

2 自由記述による評価

<総合教育系の授業について>

学生からの自由記述による評価によると、頻出する言葉として、「楽しい」「わかりやすい」が上位を占

沖縄キリスト教短期大学 2016 年度後期授業評価分析結果

めている。その後が続くのが、「面白い」「興味が湧いた」「学べた」という言葉である。また、「(先生が丁寧に教えてくれた)」「体験談などを通して身近に感じることができ、わかりやすかった」等、教員による授業の創意・工夫が学生の“やる気”につながっている。また、本学の特徴的であるキリスト教についての科目についても、「キリスト教を学ぶのは楽しいです」「保育にいかしていきたいです」といった声もあり、キリスト教について新しい発見を感じ、将来への展望につなげている学生もみられる。また、韓国語や中国語への興味・関心が高まったとする声や、SNS 利用に役に立った等、学んだことを現在のインターネット社会、グローバル化社会での積極的活用がみられる。他にも他者を尊重すること、認めることについての気づきや、本を読むことの楽しさや素晴らしさなど、知識やコミュニケーションスキルにおける新たな発見や興味を持たたととれる記述がみられる。

好意的な意見が多い中、授業や教員による不満・要望もあり、これを改善点として挙げてみようと思う。「話し方は丁寧だが難しい用語が多くわかりにくい」「(教員の)話が脱線して授業内容がわからない」など、授業構成や進め方を見直す余地がある科目もあると感じる。また、「先生の趣味の話が多くて、何について学んでいるのかわからない」という声もあり、きちんとシラバスにあった授業展開になっているかのチェックも必要である。

<英語科>

英語科の自由記述の評価から、「わかりやすい」「楽しい」といった言葉が頻出している。またなぜわかりやすいのか、楽しいと感じるのかの理由も提示されているので、ポイントがつかみやすいといえるだろう。友達との英語での討論やプレゼンテーションの機会などを設けるといった“参加型”の授業について特に多くみられる傾向がある。また、授業の前のネイティブフレーズや、毎回行うフレーズテスト等で学生の学習意欲が刺激されているととれる記述がある。学生側からも「課題が多くて大変だけど、おかげで勉強する習慣が身に付いた」「難しい内容だったけど(がんばったから)わかるようになった」「外国のニュースはこれからも見続けたい」など、前向きな学ぶ姿勢がみられる。また、「(授業で)世界中の問題をトピックにすることで英語で世の中のことを学べた」「自分も世界中を旅したい」等、グローバル化に伴う視野が育っている。

改善点として、「話すのが早くて聞き取れない」「あまり理解できていないまま授業がおわることもある」といった声があり、授業の進度や学生の理解度を見直す必要のある科目もある。また、「周りがうるさい」「(学習)意欲のある人、ない人の差がある」など学生間で授業に対する温度差がある。それについて教員が注意しない、もっと厳しくしてほしい、という声もあり、授業構成も含めたこれからの検討課題といえる。

<保育科>

保育科においても、自由記述の評価は「楽しい」「わかりやすい」というワードが多くみられた。その後が続くのが「ためになった」「学べた」「達成感があつた」等の言葉でその次に「面白い」という言葉が

沖縄キリスト教短期大学 2016 年度後期授業評価分析結果

くる。後期は前期より専門的な授業が格段に増え、実践的な授業も多くなってくることや、2 年生については最後の学習の場であることから、学生側の積極的な学びの姿勢がみられる。「先生の教え方がうまくてわかりやすい」「(議論を通して) 自分のものにするのできる授業だった」等、教員の創意・工夫があったとみられる意見もあった。

改善点として、「何を勉強しているのかわからない」「方向性がずれてくる」「教科書がわかりづらい」「質問に答えてくれない」等、教員と学生との間で、授業のあり方と問題意識のアンマッチがみられる。2 年間という短期間の中で多くのことを教えなければならず、その点からも授業構成を考えることは難しい面はあるが、学生のこのような意見も真摯に受け止めていく必要があると思われる。